



もねっとくん

しゃきよう 守恒

校区世帯数	3,183
町内会数	20
町内組数	193
校区内総人口	約11,300

発行者
 守恒校区社会福祉協議会
<http://moritsune.org/>



葉山南町内会が 自治連合会に加入！

葉山南町内会が守恒校区自治連合会に 20 番目の町内会として、昨年 10 月に加入されました。

町内会長 三島 徹さんにインタビューさせていただきました。

Q. 守恒校区に転居された理由は？

A. 子どもが小学生なので、守恒小、守恒中に魅力を感じてです。

Q. 転居されて、一番新鮮に感じられた事は？

A. 子どもの教育面です。守恒小学校での先生方の指導が、やさしさの中にも大変厳しく規律が守られている事。もう一つは、転勤族が多いので、多方面からの情報刺激が受けられて幸せです。

Q. 新しい町内会をどんな風に成長させていかれますか？希望や夢も含めて！

A. 今は 15 世帯ですが、やがて 50 世帯以上になる予定です。

まず、きずなを育てたい。そして、防犯・防災が第 1 と考えています。

一番にテントも購入しました。

守恒校区全体の催しにはみんなで積極的に参加したいと思います。

校区の皆さん、よろしくお願ひします。

海上保安庁にお勤めの三島さんは、穏やかなお人柄で、快くインタビューに応じていただきました。

守恒校区に若い世代の新しい息吹を感じました。



「できることしか、やってみません」
 阿部 剛士（守恒五町内会）
 静かな環境に便利な立地。子どもを育てる環境としては最高と考えて、ここに家を構えて早、十二年になろうとしています。家族全員、何の不満もなく、楽しく、毎日を送らせていただいております。
 今回は、町内会の役員の仕事に関して、感じたことを書かせていただきます。
 引越してきたばかりの頃、妻が体育委員に選出されました。夜の会合では小さな子ども二人を抱えて参加。日曜日のイベントでは朝早く、実家の若松まで子どもを預けに行ってそれから町内の手伝いと本当に一生懸命やりました。「町内の委員っていうのは大変だな」と私はいつも傍で見えています。そんな私が町内会副会長を務めて今年で二年目になります。仕事をしていますので、平日の昼間のお手伝いはできません。夜の会合参加、パトロール、土日のイベントなどできる範囲でのお手伝いをさせていただきます。他の町内会の副会長さんが聞いたら「えっ、それだけ？」と言われそうですが、本当にやっていることと言ったらそんなもんです。
 地域社会はいろんな人が協力しあって作りあげていかなければいけません。そんなこと誰もがわかっていながら、実際に参加して、手伝ってみないと見えないことがいっぱいありました。お年寄りの方、子育て世代の方、体が弱い方、働いている方、土日が勤務日の方…みんながいろんな事情を抱えています。今、守恒五町内会では、皆が他の人の事情を理解し、「できることを無理せずやる」様な体制に変わりつつあります。そしてこれがこれからの町内会で一番大切なことなのかもしれません。「じゃー阿部さん、ずーっと役員やって！」「それは・・・考えさせてください（笑）」



「絆」の大切さ

守恒校区社会福祉協議会
 会長 笹月 二男

守恒の一年は、「新春のつどい」に始まり、12月23日の多世代交流事業「ふれあい守恒」(餅つき、ぜんざい・豚汁、昔あそび)で越年します。年末恒例の2011年を表す漢字に「絆」が選ばれました。東日本大震災、福島第一原発事故、近畿地方を襲った台風災害など戦後最大の災害事故に見舞われ、未曾有の出来事に我が眼と耳を疑いました。しかし、そんな逆境をはねのけて、かつてない程の支援の輪も広がりました。家族や地域の「絆」の大切さを実感した一年でした。家族や「絆」のチームワークも「絆」の金メダルでした。
 ・守恒校区の一年を顧みますと・・・
 ・「葉山公務員住宅」町内自治会が名実ともに守恒小学校校区になりました。
 ・「葉山南」町内自治会が発足し守恒校区自治連合会に加入(10/15)されました。守恒校区自治連合会加入は20町内自治会・3,183世帯になりました。
 ・昨年策定した「地域に役立つ公園づくり計画」に基づき「守恒東公園」の大規模改修工事が始まりました。これに続き今年度は、「守恒四丁目東公園」と「星和中央公園」の大規模改修工事が始まります。(11月頃を予定)

気になるダイエー・アピロス跡地に元の敷地の約三分の二の広さで、スーパーマーケットが建設される予定などがあります。(3月中旬着工、10月開店予定)
 ・北九州市が行う「地域カルテづくりモデル事業」に守恒校区まちづくり協議会が選ばれました。これは、「地域情報や課題解決」のアイデア等を盛り込んだ地域カルテを作成するものです。委員に北九州市立大学生も数名参加しています。
 ・新年(年頭)に思うこと
 これからの「地域づくり」は、地域から行政や議会を動かす、逆提案を行う「能力と力」が必須条件であり、「地域で自ら考え・提案・発信する」ものでなければならぬと考えます。
 1、市民センターの管理・運営を地域主導で！
 2、小学校施設(体育館、グラウンド等)の地域開放を！
 (災害用の避難所として利用できるよう設備を整えるなど、学校施設を地域福祉との共生も視野に計画的に整備すること)
 声かけ合って、共に助け合い、住みよい「守恒校区」をみんなの力でつくりましょう！
 楽しいまち！

新春のつどい

平成24年1月8日(日)、守恒市民センターにおいて、第8回「新春のつどい」が催され、山家桂一 小倉南区長をはじめ校区の皆さん約160人が新年を祝いました。



民生委員さんのカラオケ

参加者の演奏も！

みんなの広場⑤くりしー寄稿

「できることしか、やってみません」

阿部 剛士（守恒五町内会）



しゃきょう「守恒」この一年

校区皆様のご協力と共に、今年も沢山の思い出が出来ました。心より感謝いたします。本当にありがとうございました。

第9回 夏祭りもりつね (7/23)

守恒の夏！
今年も盛り上がりました!!



★オープニングは小倉工業郷土芸能部
息ぴったり” 祇園太鼓 “

第36回 体育祭 (9/25)

秋晴れのもと、さわやかな汗、汗！

★お父さん、
ガンバレ！



★うれしい！うれしい！
優勝旗！

★おめでとうございます～

優勝：守恒東
準優勝：ラ・ヴェール葉山
3位：星和台II

第66・67回 球技大会

*第66回 (5/8)

●ソフトボール
優勝：ラ・ヴェール葉山
準優勝：星和台II

●レクバレーボール

優勝：グリーンタウン
準優勝：星和台II

*第67回 (10/16)

●ソフトボール
優勝：ラ・ヴェール葉山
準優勝：グリーンタウン

●ソフトバレーボール

優勝：アーティックス山手
準優勝：グリーンタウン

第36回 子ども球技大会 (7/10)

●ソフトボール

優勝：星和台II&ラ・ヴェール葉山

準優勝：守恒台&サニータウン

●ソフトバレーボール

優勝：ラ・ヴェール葉山A

準優勝：ラ・ヴェール葉山B

第36回 敬老会 (9/18)

昨年同様、富士見ホールにて開催。守恒アラカンズさんの演奏や守恒保育園児による演技などで、120人の参加された皆さんは、楽しく一日を過ごしました。どうぞいついつまでもお元気で。



★園児さんの演技、
かわいかったね♪

子ども会育成会 文化祭 (10/24)



7町内会のアイデア溢れる力作が並びました。それぞれの作品に「オリジナル賞状」が贈られました。

★発表もがんばりました！

第33回 グラウンドゴルフ大会 (11/13)

優勝：守恒台
準優勝：守恒3
3位：星和台



第4回 ふれあい守恒 (12/23)



★楽しい、お餅つき！



幼児から年長者まで、み～んなで楽しみました。今年は、“ブーメラン”が昔遊びに加わりました。

消防ゆるキャラ
チェックくん登場！

子ども会育成会 イベント大会 (1/22)

綱引き・メディシングボール・じゃんけんゲーム・たおしてポンなどで、約250人の元気な子ども達が、得点を競いました。



優勝：星和台II
準優勝：ラ・ヴェール葉山

寄付のご紹介

●篤志寄付
今年も、お米(玄米)を匿名希望さんよりいただきました。ありがとうございました。

さ。わが街「守恒の絆」はどうでしょう。

ある町内の福祉協力員さんから、嬉しい報告がありました。守恒校区ふれあいネットワークでは毎月、誕生日カードを対象者の方(65歳以上の独居者)に贈っています。85歳の女性からお礼状を頂いたとのこと。一文字一文字、丁寧な心のこもった文面から、「何とかこの感謝の気持ちを伝えたい」という彼女の思いが伝わって、福祉協力員さんの方が「感激で、泣きそうになりました」と。

編集後記



東日本大震災から間もなく1年。被災地を支えたのは数多くの人々の「絆」です。地震国の日本で、いつ私たちが被災者の立場になるかわかりません。困難な時こそ求められる『支え合い』。この守恒でどう心がけて行けばいいのでしょうか。

昨年暮れ、市民センターで「ふれあい守恒」が開かれました。年長者から幼児まで約600人が餅つきや、ぜんざい・豚汁を味わい、こま回しやお手玉などの昔遊びを楽しみました。「絆」を保つのに大切なのは、こうした日頃からの交流です。守恒では、独り住まいの高齢者を見守る福祉協力員や、昼食会などを通じてふれあいを深める町内会やグループの活動が盛んです。「公園でお茶のサロンを」と草の根で交流を広げようとの声も出ています。

東日本大震災では、農漁業などで培った地域の強い絆が復旧の力となりました。一方、守恒校区は転勤族をはじめ様々な人が居住するベッドタウン。すぐには一つにまとまらない難しさはありますが、地道な交流活動を息長く続け、つながりをさらに深めていきたいものです。地震が比較的少ないと言われた県内では2005年、震度6弱の西方沖地震が発生し、守恒でも大きく揺れました。最近、列島各地で地震活動が活発化しており、「ここは安全」とは誰も断言できません。新たな災害に備え、自力ですべきこと、町内会を取り組むこと、行政に要請することなど、今から準備出来ることについて話し合いを重ね、目的意識をしっかりと共有することが、結果を恐るうえでも大切ではないでしょうか。(K)

「より安心できる明日へ」

守恒ふれあいバスハイク(10/8)

～守恒校区ふれあいネットワーク事業～
今年は長崎のハウステンボスに、対象者(主に65歳以上の独居者)22人と福祉協力員、社協役員の総勢41人で出かけました。

お天気に恵まれ最高のバスハイク日和。片道約3時間のバスの旅は「皆さん、疲れるのでは？」と少々心配しましたが、「そんな心配なんのその・・・」皆さん元気いっぱい。

広い広いハウステンボスでは、1班4～6人の班行動。それぞれ、班独自のコースで楽しみました。

「来年はどこですか～？」と、毎度、気の早い質問も。皆さんどうぞ、お楽しみに～



「ボランティアは楽しく ただ今活動中」!

其のVI ～食生活改善推進員協議会～

食生活改善推進員協議会は「私達の健康は私達の手で」をスローガンに幼児から高齢者まで幅広い世代を対象に、健全な食生活の推進や安全な食生活の確保、健康づくり、地産池消の推進などに積極的に取り組んでいます。

特に健康づくりの担い手として、食に関する豊かな知識や経験を生かした、「ふれあい昼食交流会」や「健康料理普及講演会」、「おやこの食育教室」を開催、校区の夏祭りや文化祭などにも参加して、地域に食育の輪を広げようと頑張っています。

守恒グループは平成6年に市民センターを拠点に発足、10月には第1回「ふれあい昼食交流会」を実施しました。あれから18年、「ヘルスマイト」の愛称で続けてこられたのも、市民センターをはじめ地域の皆さんの協力のおかげと感謝いたしております。

メンバーも高齢化し、大変なところもありますが、人と人との絆を大切に、お互いを支え合い、よき仲間を増やしながら、元気で楽しく、「食のボランティア活動」を進めていきたいと思ひます。

